令和８年度　大田区立○○小学校　学校経営方針　概略版

＜東京の目指す教育＞
誰一人取り残さず、すべての子供が将来へ希望を持って自らの伸び、育つ教育

学校教育目標
考える子　（知）
健康な子　（体）
やさしい子（徳）

＜おおた教育ビジョン＞
笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます

目指す学校像
「共に生きる」→他者と協働することや助け合うことの大切さを学ぶ。
「自立する」→自分を知り、大切にする。自分で学びの計画を立て、責任をもつ。
「社会に目を向ける」→社会の一員として、地域を大切にし、すすんで地域と関わる。

個別目標１
予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成

●自分の学びを自分の言葉で伝えるスピーチ大会の実施
●AAR（めあて➡実行➡振り返り）サイクルの推進による個別最適な学びと協働的な学びの充実
●区独自教科「おおたの未来づくり」の充実
●異年齢交流活動の充実
・「入ニタイム」を年間６回実施
●かかわる力の育成
・「入ニっ子クラブ」の実施
・遊びや運動を通した人間関係作り
●学級活動の充実（学級会・係活動）
●児童会活動の充実
・全校集会活動
「いじめ撲滅宣言」「入ニまつり」「委員会発表」
●児童主体の委員会活動、クラブ活動
●音楽朝会（学年発表）の実施
●タブレット端末を活用した情報活用能力の育成
●情報モラル教育の実施

個別目標２
世界とつながる国際都市おおたを担う人材の育成

●ALT と外国語担当教員による外国語活動及び外国語授業
●英語カフェの実施
●大田区人権教育研究校としての活動
・人権教育講演会の開催
・「人権」をテーマにした総合的な学習の時間の実施
・「地域と考える人権展」の実施

個別目標３
一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成

●生活リズムを考えた時程
●学習マナー「入ニスタイル」の徹底
●学期に１回「入ニスタイル週間」の実施
●基礎基本の確実な習得
●各教科言語活動の充実
●算数少人数指導・習熟度別指導及び TT の実施
●算数ステップ学習（AI ドリル）・東京ベーシックドリルの実施
●読書活動の充実（週２回の朝読書・月１回のお話会・読書環境の整備）
●漢字検定に向けた全校統一の取組
●MIM 実施
●家庭学学習の推進（学年×10 分）
●補習教室（水）の実施
●個人面談の充実（高学年は三者面談）
●年間を通したなわとび運動の実施
●朝の校庭開放による運動時間の十分な確保
●体育集会や講演会、運動への興味・関心の向上
●日体大との連携を通した運動遊びの場の充実
●食育、保健指導の充実（学校公開で食育授業の実施）
●年２回「早寝、早起き、朝ご飯」月間の実施

個別目標４
学校力・教師力の向上

●学級経営の充実
・学級目標
・教室環境（ユニバーサルデザイン）
・話合い活動
●学年教科担任制の促進(理科･社会)
●校内研究を軸にした組織的な授業改善（自己選択、自己決定、自己調整ができる単元デザイン作り）
●ＯＪＴ研修、年次研修の計画的実施
●経営会議を軸にした組織的運営
●区･都の研究会や研修会への積極的
●人権尊重教育研修会への参加
●年３回の授業観察、管理職との協議
●ICT 活用やペーパーレス化による働き方改革の推進
●服務事故防止の組織的対応
●対話を通した組織改善

個別目標５
自分らしくいきいきと生きるための学びの支援

●「こどもの心サポート月間」（アンケートや面談の実施）
●オアシス委員会、不登校対策委員会の充実
・児童に関する情報共有、組織的対応
・生活指導夕会の充実、ケース会議の開催
・不登校、長期欠席児童への個別支援（ひまわりルームの活用）
●児童支援システム「結―EN」を活用した深い児童理解、視点の共有化による協働的な指導の充実、進級･進学時の円滑な情報の引継「生きる力を育むプログラム　大田区における特色ある教育の推進　～小中一貫教育体制を有効活用した学力向上を目指す取組～」

個別目標６
柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境づくり

●校内掲示の工夫
●きまりの視覚化
●安全点検カード、安全マップの活用、教員による地域巡回（学期１回）
●防犯、施設の安全管理・避難訓練の実施
●新校舎改築に伴う、近隣施設と協力した教育活動の推進

個別目標７
学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティとしての学校づくり

●学校運営協議会の実施（年６回）
●地域学校協働本部「チーム入ニ」との協力、わくわくスクールの充実
●地域人材・団体と連携した授業の充実
●学校公開の充実
●学校 HP の随時更新
●保護者会の充実
●教職員の地域活動への積極的参画
●保護者評価を生かした学校改善